

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

スピーチ く話し言葉と書き言葉く

【目的】

日本人はスピーチが下手だとよく言われる。それはなぜか。アメリカにはスピーチの授業があるという。しかし日本にはあまりない。結局訓練をしているかしていないかということであろう。この単元では話によって物事を上手に伝えることを学習する。

【前提】

しかし多くの人は人前で話するのが苦手だという。苦手意識もあって、上手にならないし、物事が伝わらない。それではどんなところに気を付ければ、上手に伝わり、苦手意識がなくなるのか。我々は小さい頃から言葉で表現することを学んでいる。しかしどんな言葉で表現しているのかという書き言葉である。つまり「作文」ということだ。しかし「作文」で書く文章と実際に話す文章は違う。問題はここにある。

「作文」とすると、目で見てわかる言葉を使い、聞いてわかる言葉は使わない。それに一文が長くなる。つまり聞いてわかる文章を作らないのである。だから話す時には「作文」してはいけないのである。

【対策】

話すことを作文しない。プロット（ポイント）やアウトラインだけをメモする。

一つの文を10秒以内に作る。（だからだと言葉をつなげない）

ナンバリングとラベリングを使う。

【実践】「自分の街の特徴」or「自分が高校で学んだこと」or「自分の性格」

制限時間一分間（50秒く70秒におさめること）

メモ

全部で二点

一点目

二点目

三点目

締めくくり

【技術】

始まりと終わりを示す。「これからくを話します。」「以上がくです。これで終わります。」「えー」「えーっと」は言わない。言いそうになっただけなら黙る。

笑わない。にやつかない。

一人一人を約2秒ずつ見つめ、全体を見渡す。（一人に集中しない・視線を中空に漂わせない）

手は胸の下に位置しておく。

【ふりかえり】

スピーチ評価票の集計をして記入してください。

1	自分に視線を合わせたか	合わせた………	(名)	(名)	(%)
	合わせなかった………	(名)	(名)	(%)	
2	話の内容は？	おもしろかった………	(名)	(名)	(%)
	まあまあだった………	(名)	(名)	(%)	
3	ラベルを書いてくれたか	ラベル1点目を正確に書いた人数………	(名)	(名)	(%)
	ラベル2点目を正確に書いた人数………	(名)	(名)	(%)	
	ラベル3点目を正確に書いた人数………	(名)	(名)	(%)	

以上のことをもとに、ふりかえりを書いてください。

スピーチ評価票

年 組 番 名前

さんのスピーチの評価

- 1．自分に視線を合わせてくれましたか？ 合わせた 合わせなかった
- 2．話の内容は？ おもしろかった まあまあだった
- 3．ラベルを3つ書いてください。

スピーチ評価票

年 組 番 名前

さんのスピーチの評価

- 1．自分に視線を合わせてくれましたか？ 合わせた 合わせなかった
- 2．話の内容は？ おもしろかった まあまあだった
- 3．ラベルを3つ書いてください。

スピーチ評価票

年 組 番 名前

さんのスピーチの評価

- 1．自分に視線を合わせてくれましたか？ 合わせた 合わせなかった
- 2．話の内容は？ おもしろかった まあまあだった
- 3．ラベルを3つ書いてください。

スピーチ評価票

年 組 番 名前

さんのスピーチの評価

- 1．自分に視線を合わせてくれましたか？ 合わせた 合わせなかった
- 2．話の内容は？ おもしろかった まあまあだった
- 3．ラベルを3つ書いてください。
